

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公開番号】特開2006-144176(P2006-144176A)

【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2006-022

【出願番号】特願2004-337004(P2004-337004)

【国際特許分類】

D 0 1 F 2/28 (2006.01)

D 0 1 D 7/00 (2006.01)

【F I】

D 0 1 F 2/28 Z

D 0 1 D 7/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月29日(2007.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数本のアセテートフィラメントを集束してアセテートトウ糸条を作製し、同アセテートトウ糸条を複数本集束することによりトウバンドを製造するトウバンドの製造方法において、

前記アセテートトウ糸条の作製後に同トウ糸条に水分を付与し、その水分率を5%以上20%以下とすること、

水分が付与された前記アセテートトウ糸条を複数本帯状に集束してトウバンドを形成すること、

前記トウバンドに水分を付与し、その水分率を20%以上50%以下とすること、及び前記水分を付与したトウバンドに捲縮を付与すること、  
を含んでなることを特徴とするトウバンドの製造方法。

【請求項2】

連続して複数本のアセテートトウ糸条を集束しトウバンドを形成すること、一方向に走行する前記アセテートトウ糸条を所要の摺接面を有するガイドの前記摺接面を摺接走行させること、及び前記ガイドの上流側近傍におけるトウ糸条の張力T1と前記ガイドの下流側近傍におけるトウ糸条の張力T2との張力差(T2-T1)を100g f以上200g f未満に張力調整することを含んでなる請求項1記載のトウバンドの製造方法。

【請求項3】

複数本のアセテートフィラメントを集束してアセテートトウ糸条を作製し、同アセテートトウ糸条を複数本集束することによりトウバンドを製造するトウバンドの製造装置であつて、

前記アセテートトウ糸条に水分を付与する第1水分付与装置と、

水分が付与された複数本のアセテートトウ糸条を帯状に集束してトウバンドを形成するトウバンド形成手段と、

前記形成手段により形成されたトウバンドに水分を付与する第2水分付与装置と、

水分が付与された前記トウバンドに捲縮を付与する捲縮付与装置と、  
を備え、

前記第2水分付与装置は、前記トウバンドに接触する水分付与ガイドを有してなり、同水分付与ガイドはトウバンドの幅方向を規制する一対のフランジ部と、同一対のフランジ部間に開口したスリットとを有し、同スリットを介してトウバンドに液体が付与されてなるトウバンドの製造装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

すなわち、本発明のトウバンドの製造方法は、複数本のアセテートフィラメントを集束してアセテートトウ糸条を作製し、同アセテートトウ糸条を複数本集束することによりトウバンドを製造するトウバンドの製造方法において、前記アセテートトウ糸条の作製後に同トウ糸条に水分を付与し、その水分率を5%以上20%以下とすること、水分が付与された前記アセテートトウ糸条を複数本帯状に集束してトウバンドを形成すること、前記トウバンドに水分を付与し、その水分率を20%以上50%以下とすること、及び前記水分を付与したトウバンドに捲縮を付与すること、を含んでなることを最も主要な特徴とするものである。なお、本発明において、アセテートとは、酢化度が45%以上59.5%未満であるジアセテートをいう。